



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 株式会社ダイオーズ 上場取引所 東  
 コード番号 4653 URL https://www.daiohs.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 真一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 稲垣 賢一 TEL 03-3438-5511  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	27,383	11.6	1,290	4.5	1,240	△6.0	836	△13.4
2019年3月期第3四半期	24,547	10.4	1,234	0.6	1,320	7.7	965	30.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 745百万円 (△39.6%) 2019年3月期第3四半期 1,234百万円 (57.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	62.28	—
2019年3月期第3四半期	71.86	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	22,721	14,087	62.0	1,049.03
2019年3月期	22,078	13,603	61.6	1,012.21

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 14,087百万円 2019年3月期 13,603百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	21.00	21.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 6円00銭

2020年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 6円00銭 記念配当 2円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,848	10.5	1,818	11.3	1,679	△1.2	1,108	0.2	82.50

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3 Q	13,439,142株	2019年3月期	13,439,142株
② 期末自己株式数	2020年3月期3 Q	10,391株	2019年3月期	41株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3 Q	13,428,751株	2019年3月期3 Q	13,439,101株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において当社グループは、以下のような施策を実行しました。

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

## ① 日本部門

当第3四半期における国内部門の連結子会社である株式会社ダイオーズ ジャパンの業績は期初計画を上回り好調に推移しております。B to Bに特化したサービスを継続的にお届けするのが当社のビジネスモデルです。創業50周年を経た今日においても「お客様目線に立った経営」の精神を貫く当社のサービスには多くのご評価をいただき、今期も順調に契約顧客件数が増加しております。

飲料関連サービスにおいては大規模事業所用の大型コーヒーマシンを中心にあらゆる規模の事業所に対応するコーヒーマシンを取り揃え、また、ボトルウォーターの製造工場を増設し中間物流コストを省く事によって、リーズナブルな価格提供が可能な環境作りを全国レベルで加速させております。環境衛生関連サービスにおいては当社のサービス体制へのご評価にお応えする為に昨期に続き商圏拡大を進めると共に、マスコミにも「注目の成長事業」として大きく取り上げられたダイオーズカバーオール(清掃サービス)の契約希望数も急増しております。コーヒー、ボトルウォーター、ティーサーバー等の飲料関連ならびにダストコントロール、ダイオーズカバーオール(清掃サービス)等の環境衛生関連の全てのサービスにおいて、継続契約顧客件数は過去最高を更新しました。

これらの結果、株式会社ダイオーズ ジャパンの売上高については、前年同四半期比営業日数がマイナス3日という逆風下にも関わらず、期初計画比3.3%増、前年同四半期比9.8%増の109億86百万円となり、6期連続での過去最高実績を更新しました。また営業利益についても、今期限定の特別支出として、50周年記念に関わるキャンペーン行事関連費用が発生し、また、売上高と同様に営業日数が対前年同四半期比で3日少ないことから固定経費比率が例年よりも高くなるという現象の下で利益確保の下振れ要因が発生しましたが、それでも過去から積み上げて来た政策効果によって、期初計画比13.7%増、前年同四半期比7.4%増の9億91百万円となり、売上高同様に過去最高実績を更新しました。なお、現状の勢いから、通期実績予測については売上高、営業利益、共に通期計画を上回り、過去最高の実績を更新する見通しとなっております。

## ② 米国部門

米国部門の連結子会社Daiohs U.S.A., Inc.においては、以下のような施策を実行しました。

米国のマクロ景気は米中貿易摩擦などの不確定要素を抱えながらも、引き続き堅実な状況が続いております。全米平均失業率も当第3四半期末時点で3.5%と米国で完全雇用とされる水準の5.0%を大きく下回り、米国全般で大幅な人手不足の様相が長期化しています。全米規模でマクロ景気状況は良好で企業の人員確保需要は高く、福利厚生充実の必要性から当社の提供するサービスへの需要は高まっております。

そのような環境下、当社米国部門では2024年3月期までに全米展開の概ね完成と年商2億5千万ドル到達の長期目標を掲げており、従来型のオフィスコーヒーマシンサービス(OCS)事業の拡大に続き、拡大版OCSと言えるプレミアムOCS事業のノウハウ取り込みと事業モデル整備を進めております。

2017年6月に買収したBlue Tiger Coffee社は昨年4月にDaiohs U.S.A., Inc.に企業合併を行いました。引き続き独立したプレミアムOCS事業部門として主に米国西部を中心に展開しており、5月にはデンバー市場、10月にはダラス市場に新規出店を行いました。

また、従来型OCS事業でも営業力の強化を図り米国中央部や東部を中心に未進出市場への出店を継続し、M&Aによって8月にはテキサス州ダラス郊外のプレーノ市にダラスノース支店を、9月には同州ミッドランド支店を出店いたしました。一方、近接市場での生産性向上のため本年10月にマサチューセッツ州スプリングフィールド支店をコネチカット州ハートフォード支店と統合、11月にメリーランド州アバディーン市にあったボルチモアノース支店を、ボルチモア支店と統合いたしました。

それらの施策を図った結果、当第3四半期の売上高は、前年同四半期比12.8%増(ドルベースでは前年同四半期比14.6%増)の164億3百万円(期初計画比100.1%)となりました。

一方利益面では、東海岸などの新規拠点で初期赤字が新たに発生しているものの、既存拠点は従来型OCS事業、高付加価値型プレミアムOCS事業ともに増益となった結果、米国部門としての営業利益は前年同四半期比0.3%増の4億14百万円(期初計画比98.9%)となりました。なお、ドルベースでは期初計画比でも101.3%と計画を上回り、前年同四半期比では1.9%の増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は273億83百万円(前年同四半期比11.6%増)、売上総利益は156億89百万円(前年同四半期比11.8%増)、営業利益は12億90百万円(前年同四半期比4.5%増)、経常利益は12億40百万円(前年同四半期比6.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億36百万円(前年同四半期比13.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は227億21百万円で、前連結会計年度末比6億43百万円増加となりました。

流動資産は91億93百万円で、前連結会計年度比6億30百万円減少となりました。これは主に「売掛金」が2億44百万円、「商品及び製品」が3億2百万円増加した一方で、「現金及び預金」が11億31百万円減少したことによるものです。固定資産は135億28百万円で、前連結会計年度末比12億73百万円増加となりました。これは主に「建物及び構築物」が2億28百万円、「工具、器具及び備品」が3億77百万円、「レンタル資産」が1億80百万円増加したことによるものです。

負債合計は86億34百万円で、前連結会計年度末比1億59百万円増加となりました。これは主に「長期借入金」が6億61百万円減少した一方で、「短期借入金」が12億43百万円増加したことによるものです。

純資産合計は140億87百万円で、前連結会計年度末比4億83百万円増加となりました。これは主に「利益剰余金」が5億86百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表しました2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,337,785	2,205,928
売掛金	3,596,714	3,841,520
リース投資資産	297,151	284,088
商品及び製品	1,490,718	1,792,747
仕掛品	4,126	4,730
原材料及び貯蔵品	162,544	198,836
その他	966,852	897,416
貸倒引当金	△31,997	△31,831
流動資産合計	9,823,895	9,193,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	545,773	774,039
機械装置及び運搬具(純額)	724,134	900,403
工具、器具及び備品(純額)	3,207,028	3,584,796
レンタル資産(純額)	1,600,490	1,780,656
リース資産(純額)	48,233	44,491
土地	820,531	975,045
建設仮勘定	118,153	333,773
有形固定資産合計	7,064,345	8,393,206
無形固定資産		
のれん	27,518	19,660
顧客関連資産	4,148,735	4,033,785
その他	151,193	168,615
無形固定資産合計	4,327,447	4,222,061
投資その他の資産		
投資有価証券	477,481	553,810
繰延税金資産	74,283	17,385
その他	330,676	361,236
投資損失引当金	△19,391	△19,391
投資その他の資産合計	863,050	913,040
固定資産合計	12,254,843	13,528,308
資産合計	22,078,738	22,721,744

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	753,172	644,572
短期借入金	1,548,583	2,791,792
1年内返済予定の長期借入金	1,021,292	880,679
未払法人税等	244,734	51,220
未払費用	522,177	568,712
賞与引当金	267,946	149,153
その他	1,028,789	909,012
流動負債合計	5,386,696	5,995,143
固定負債		
長期借入金	2,497,089	1,835,130
繰延税金負債	115,297	211,882
資産除去債務	31,689	32,086
その他	444,808	560,374
固定負債合計	3,088,885	2,639,474
負債合計	8,475,581	8,634,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,135	1,051,135
資本剰余金	1,129,434	1,129,434
利益剰余金	11,149,259	11,736,196
自己株式	△48	△12,444
株主資本合計	13,329,781	13,904,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,799	5,889
為替換算調整勘定	267,576	176,915
その他の包括利益累計額合計	273,375	182,805
純資産合計	13,603,156	14,087,127
負債純資産合計	22,078,738	22,721,744

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	24,547,089	27,383,526
売上原価	10,508,373	11,693,923
売上総利益	14,038,715	15,689,602
販売費及び一般管理費	12,804,033	14,399,171
営業利益	1,234,682	1,290,430
営業外収益		
受取利息	737	610
受取配当金	100,812	810
仕入割引	14,442	10,989
持分法による投資利益	—	31,890
為替差益	19,066	—
債務勘定整理益	9,150	12,895
その他	27,339	15,396
営業外収益合計	171,547	72,592
営業外費用		
支払利息	81,506	121,041
持分法による投資損失	2,249	—
為替差損	—	172
その他	1,994	918
営業外費用合計	85,751	122,133
経常利益	1,320,478	1,240,890
特別利益		
固定資産売却益	1,443	2,966
事業分離における移転利益	16,666	—
関係会社株式売却益	—	7,743
特別利益合計	18,109	10,709
特別損失		
固定資産売却損	65	239
固定資産除却損	989	13,526
特別損失合計	1,055	13,766
税金等調整前四半期純利益	1,337,533	1,237,833
法人税、住民税及び事業税	295,869	247,231
法人税等調整額	75,883	154,319
法人税等合計	371,753	401,551
四半期純利益	965,779	836,281
親会社株主に帰属する四半期純利益	965,779	836,281



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	965,779	836,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△349	90
為替換算調整勘定	269,789	△90,837
持分法適用会社に対する持分相当額	△469	177
その他の包括利益合計	268,969	△90,570
四半期包括利益	1,234,748	745,711
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,234,748	745,711
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,997,680	14,544,424	24,542,105	4,984	24,547,089
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,952	—	8,952	△8,952	—
計	10,006,633	14,544,424	24,551,057	△3,968	24,547,089
セグメント利益	923,661	413,709	1,337,371	△102,688	1,234,682

(注) 1 調整額の内容は、以下のとおりであります。

売上高

(単位:千円)

非連結子会社からの利息収入等	4,984
連結消去	△8,952
合計	△3,968

セグメント利益

(単位:千円)

全社費用(注)	△363,393
連結消去	260,704
合計	△102,688

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の営業費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,975,653	16,403,827	27,379,480	4,045	27,383,526
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,536	—	10,536	△10,536	—
計	10,986,190	16,403,827	27,390,017	△6,491	27,383,526
セグメント利益	991,939	414,828	1,406,767	△116,336	1,290,430

(注) 1 調整額の内容は、以下のとおりであります。

## 売上高

(単位:千円)

非連結子会社からの利息収入等	4,045
連結消去	△10,536
合計	△6,491

## セグメント利益

(単位:千円)

全社費用(注)	△393,919
連結消去	277,582
合計	△116,336

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の営業費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。